



イモガイ形土製品（長径約 7.6cm）

暖かい海に生息する貝であるイモガイの貝殻の先端（殻頂部）を模造したものと考えられています。



砂沢式土器

東北地方北部の弥生文化初頭に位置づけられる砂沢式土器の破片資料で、「変形工字文」と呼ばれる特徴的な文様がつけられています。東北地方北部から持ち込まれたものと考えられます。



出土した石器

石を打ち割ってつくった石鏃、石錐、ナイフ、搔器、石を磨いてつくった石斧、川原石を持ち込んで利用した砥石、磨石、敲石などの道具とともに、石器をつくる際に打ち割られた剥片が多量に出土しました。これらの石器は、黒曜石を中心として、頁岩、泥岩、メノウ、凝灰岩、片岩、安山岩など、多様な石材によってつくられています。



琥珀製の平玉

樹液の化石である琥珀を用いて製作された装飾品です。直径約 1cm、厚さ 0.3～0.6cm 程で、丁寧に磨かれています。



琥珀製平玉の出土状況

琥珀製の平玉は、平成 26 年度の調査で、3b 層から出土しました。